



contents

- 会長挨拶
- 新会員による自己紹介
- 編集後記

～会長挨拶～

長野地区会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察いたします。また日頃より当地区会活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。2022年7月現在、COVID-19未だ衰えず、地区会として集合型の催しが再開できるか見通しが難しい状況にあります。本号では今年4月1日付け人事異動により、新たに長野地区会に入会頂いた会員皆様からご挨拶を頂戴しております。今般の社会情勢にあつて、新入会員の皆様と何時お会いできるか予想が付きません。是非ご覧頂きたく願います。

さて話題は変わりますが、去る6月13日、R3年度国臨協技師長協議会関信支部地区会長Web会議が開催されました。その中から抜粋し、本書面をお借りして報告いたします。この紙面を読んでいる若い世代の方は、そもそも技師長協議会？地区会長会議？何のことだ？と思っていることでしょうか。無理ありません、私も主任の時まで同様でした。少しだけ解説します。全国規模の国立病院臨床検査協議会、略して国臨協が言わば元締め親組織となります。この親組織の会務を担う皆様は国臨協本部理事と呼ばれています。全国は広いので〇〇支部として地方組織があります。長野県は関東甲信越にあるので、国臨協の中で通称、関信支部と呼ばれる組織に属します。技師長と副技師長のみが所属している組織が技師長協議会と呼ばれています。技師長協議会も全国の親組織と前述した地方組織があります。地区会長会議とは、地方組織の各支部に属する県の地区会長が集まる会議と言うことになります。何でもこの様に沢山の〇〇会があるのですが、おそらく国立病院・療養所の時代、我々の先輩技師の方々が、系列病院で働く者同士、組織活動が『助け合いや相互の能力を高めあおう』との信念を根底に、様々な活動を起こした結果、現在の組織体になっていることと想像しています。長くなりすみません。日常業務の傍ら、様々な会務に取り組む仲間がいること、好むと好まざると何時か何らかの会の役員（理事）を依頼される日が来ることを念頭に置いて下さい。

本題に戻ります。以下、6月13日開催、R3年度国臨協技師長協議会関信支部地区会長Web会議報告です。関係ないと思わず、何時か自分の身に降りかかりますから一読を。

- ① 技師長協議会関信支部の協議会活動について。来年度より「臨床検査科（部）の品質向上および管理体制の強化」、「臨床検査技師の職場環境改善について」、「臨床検査業務統計運用検討委員会」の3つとする。
- ② 国臨協本部との組織合併について、岡村会長より。過去にも議論された内容である。ここ数年で多くの技師長・副技師長が退官して多くの役員の入れ替えが予想される中、人選では苦慮している。人材不足だけでなく、国臨協本部との事業の統一を含め、全国的な動きとなるため、国臨協本部と再度協議していきたいと
- ③ 検査科運営について。現在、女性技師の割合は、20歳代が約70%、30代・40歳代も60%を超えている現状で、産前産後休暇や育児休業、時短勤務の会員が増加している。施設においても代替職員等の確保に苦慮している。あらゆる手段を講じて人材の確保に尽力するしかない。ワークライフバランスの充実に努めることで離職防止にも繋がると考える。昨年の医療職（二）・福祉職協議会で提言要望し、共通要望事項に、産休・育休・病休代替制度及び雇用条件の改善と育児時間等の育児制度・介護制度の拡充が緊急課題として要望事項になっている。前島専門職より、これらの問題に対してグループとして手当てできることとしては過員配置の方策となる。過員配置にするにしても登録選考で確保しなければならないので出来るだけ早く産休育休情報の提供を頂きたい。
- ④ 前島専門職より臨地実習指導者講習会の受講状況について。日臨技情報として、5/17現在で500名（≡施設）修了、目標値1200（実習生受入れ施設）で残700施設。期間が2年弱あるので比較的早い段階で1200達成が見込まれる。現在は1施設1名のみの受講としているが、2023年度初旬からは1施設1名の制限は解除の可能性あり。
- ⑤ 今後の技師長協議会活動について、岡村会長より。世代交代の時期に来ている。5年後、10年後を見据えて、副技師長を理事に迎え、組織構築の準備をしていきたい。

長野地区会の直近の活動としては、7月9日（土）にR3年度長野地区会研修会がありました。Zoomを利用して前島専門職より「伝達事項ならびに会員の皆様に向けて」と題しまして、ご講演を頂きました。非常に盛り沢山の内容であり、役職に就いていない一般技師にも解りやすくお話頂きました。開催を主催した側の反省としては、仮に講師の先生のご都合がつけば平日の夕方開催を検討すべきでありました。開催日は何時にせよ、コロナ禍で集合型の開催が難しい状況が続いており、専門職のご講演を直接拝聴する機会が少ないため、来年同様の企画があった際はもっと多くの会員に参加頂きたく願います。

最後になりましたが、総会書面表決にご協力頂き誠にありがとうございました。長野地区会会員が一同に会し、集合型の催しが開催できる日を心待ちにしつつ、会員皆様のご健康と更なるご活躍を祈念申し上げます。

～長野地区会新入会員の自己紹介～



まつもと医療センター
内田 栄二



長野地区会員の皆様、初めまして。この度、4月1日付でまつもと医療センターに副臨床検査技師長で着任しました内田 栄二と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まつもと医療センターは、正職員として5施設目の職場になります。

自宅は東京でこれまでの職場は東京・神奈川でしたので、ビル群の山々から自然に囲まれた山々のなかへの異動となり、通勤時には北アルプスを眺めながら通勤しています。

今回は、はじめての地方勤務・単身赴任・副技師長業務と重なり、頭の中はいろいろなことが巡っています。現在は技師長及びスタッフの方々から指導をしていただきながら業務を行っていますが、早く副技師長業務に慣れ、今までの経験を活かして検査科運営に携わっていきたいと思っています。

COVID-19の影響で皆様と直接お会いできませんが、いつか地区会等でお会いできる日を楽しみにしています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

まずは、略儀ながら誌面上にてご挨拶申し上げます。



まつもと医療センター 三觜 智子



4月1日付で近畿ブロック 南和歌山医療センターより転勤してまいりました、三觜智子と申します。まつもと医療センターは9年目、4施設目となります。関西では血液・凝固検査を中心に検体検査に従事しておりました。輸血検査についても目下勉強中ですので、皆様にご相談させていただけると嬉しく思います。

大学時代は松本に暮らしておりましたので、再び戻ってくることにになり懐かしく思っています。4月1日の辞令交付式では雪がうっすらと積り、長野に来たという実感が強くありました。また、関西は湿気が非常に多いので爽やかな陽気もうれしく思っています。寒いのは苦手ですが、雪山は好きなのでいまから冬を楽しみにしております。

紙面でのご挨拶となりましたが、直接お会いできるのを楽しみにしております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



まつもと医療センター 岡村 和弥



長野地区会員の皆様、初めまして。この度、4月1日付でまつもと医療センターに赴任しました岡村和弥と申します。よろしくお願いいたします。以前は茨城の水戸医療センターにて6年勤務しておりました。

地元は埼玉の山間部で、こちらと同様に自然の豊かな土地で生まれ育ちました。異動の話をいただいた際は、慣れ親しんだ水戸を離れることに不安を感じる面もありましたが、都市部よりも自然に恵まれた土地が好きなため、今回の異動をうれしく思っています。帰宅時に、北アルプスの山々に沈む夕日を眺めるのが日々の小さな楽しみとなっています。

正職員になってから初めての転勤で戸惑うことが多く、これまで経験したことのない業務もあるため、前任のスタッフの皆様に指導を仰ぎながら、日々を過ごしております。早く業務に慣れ、今までの経験を活かせるよう精進し、業務に携わっていきたいと思っています。

COVID-19の影響で皆様と直接お会いすることはできませんが、いつか地区会等でお会いできる日を楽しみにしています。略儀ながら誌面上にてご挨拶申し上げます。



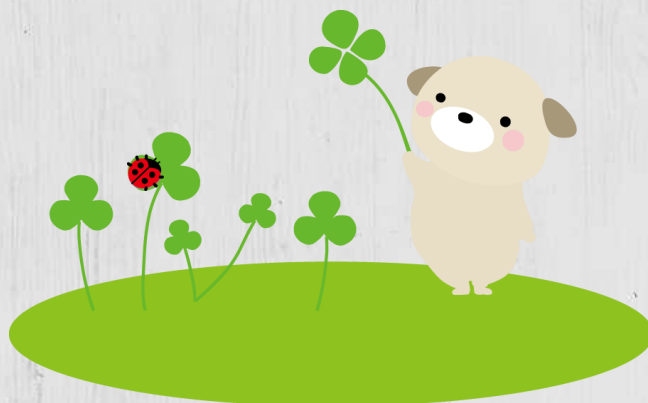
信州上田医療センター 大澤 優奈



今年度4月より信州上田医療センター臨床検査科に所属しております、大澤優奈と申します。出身は群馬県前橋市で、昨年までずっと群馬県に住んでいました。長野県は軽井沢のアウトレットにしか行ったことがなかったので、休日はドライブしながら長野県の有名観光地を巡っています。また、料理をすることが好きなので、よくツルヤで材料を買って作っています。一番得意な料理はボンゴレですが、最近はネギを使用した料理を作るのにハマっています。

臨床検査技師としては今年で3年目となりますが、1年目、2年目とそれぞれ違う施設で勤務していました。1年目は群馬県内の大学病院で勤務し、主に一般検査・生化学検査に従事していました。2年目は高崎総合医療センターで非常勤職員として、検体検査業務に従事していました。今年度より信州上田医療センターに配属となりましたが、経験したことのない検査も多く、日々悪戦苦闘しています。また、夜間の勤務も初めてですが、いち早く即戦力となれるよう努力する毎日です。

まだまだ未熟な部分でご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。最後となりますが、今日より明日、明日より明後日と日々成長していけるよう精進して参ります。





信州上田医療センター
橋本 実希



長野地区会員の皆様、はじめまして。4/1付けで信州上田医療センターに配属になりました、橋本実希と申します。

大学卒業後、国立国際医療研究センター病院にて非常勤職員として1年間勤務し、臨床検査技師としては2年目のまだまだ新人であります。地元を離れ、長野の地は初めてで、山がこんなにも近くにあるのかと驚きました。長野の冬を経験したことがないので、寒さに耐えられるか不安であります。

私事ではありますが、最近髪の毛を20cm以上切り、ロングヘアからショートヘアになりました。自分史上最も短い髪の毛の長さで、職場では皆さんから「切ったの?」と、声をかけられ、挨拶程度しかしたことがなかった方も声をかけて頂き会話のきっかけのひとつになりました。髪型の変化に気づくように、検査業務においても基準範囲や前回値と比較して現状はどうか、その変化に気づくことは検査技師にとって大事であると感じています。その変化にいち早く気づくために知識を深め、経験を積んでいきたいと思っています。

最後になりますが、なるべく早くCOVID-19の影響がおさまり、長野地区会の行事で皆様と直接お会いできる機会が再開されることを願っております。これからよろしくお願いいたします。

～編集後記～

まずは新会員皆様、ようこそ長野県へ。長野県は自然豊かで食べ物がおいしいステキな場所です。ぜひ自然豊かな長野県を満喫してください。

さて、今年度の地区会ニュースも最後となりました。稚拙な誌面でしたが、皆様のご協力を頂きながら、楽しく作ることができました。本当にありがとうございました。

最後になりますが、新型コロナウイルスの第7波が急速に感染拡大している状況ですが、皆様、くれぐれもご自愛ください。